

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。第1期生の海外での挑戦の様子などについて、お届けします！現在、9名が留学中！

学生留学コース

高橋 宗一郎 さん（酪農学園大学） ～ワイン酵母を研究し道産ワイン産業に貢献～

ワインの天然酵母の研究のため、イタリアトップクラスの大学研究室に9月から4か月間の留学中。

11月、大学の研究室では、ワイナリーと共同でワインを製造しながら実践的な実験を行いました。

また、2件のワイナリー訪問と500以上のワイナリーが集まったワインフェスタにおいて有機農法・自然農法についてヒアリングを行いました。



畠山 陸 さん（小樽商科大学） ～東南アジアでゲストハウスを立ち上げ北海道との交流拠点に～

起業家としてのスキルアップとゲストハウスの海外進出に向け、ベトナムで4か月間の企業インターン中。

11月は、事業計画書をまとめ、社長プレゼンを実施。2市2件の同時進行プロジェクトへの拡大が決定。

これまでに、800㎡の元ホテルの物件と世界遺産のある市街地から徒歩10分圏内の好立地条件の物件の2件の仮契約まで到達しました。

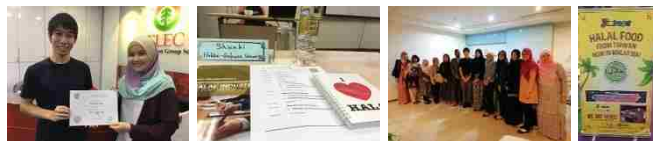


中川 峻貴 さん（北海学園大学） ～ハラール食の現地調査で道内企業と海外の架け橋に～

ハラールについて学ぶためマレーシア等3カ国へ8月から6か月間の留学中。

11月は政府公社のハラールセミナーに計8日間参加。コーランを参照しつつ基礎から実践まで学ぶ。認証取得にあたっては、調達～販売までの「プロセスの安全性」やそれを確保する「社内システム」を認証団体にきちんと説明できることが重要と認識しました。セミナー参加者との現地ネットワークも拡大。

下旬に現地調査1ヶ国目のインドネシアに移動しました。

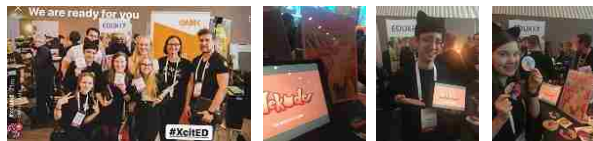


坂上 涼一 さん（北海道情報大学） ～ICT先進国で学び観光アプリを開発～

多様化した観光ニーズに対応する、高度なIT技術を学ぶためフィンランドへ8月から5か月間の留学中。

11月、大学では子ども向け教育アプリの開発コンペの決勝戦に向け、海外企業と連携した使い勝手テストや小学校への意見聴取などに取り組みました。

また、世界最大規模のIT創業イベントに大学のチームを代表して弾丸行程で参加し、大学ブースで投資家にデモをしながらプレゼンを繰り返しました。周囲のハイレベルなプレゼンからも多くを学ぶことができました。



福沢 大貴 さん（北星学園大学） ～アイヌ文様を発信しアイヌファッションの逆輸入を～

ファッションを通して、アイヌ文様を世界に発信し、逆輸入することを目指して、英国へ9月から5か月間の留学中。

11月、大学のファッション学部でデザインや製作について学びながら、自らのアイデアと作品の発表に向け、協力者やモデル探しを行っています。

アイヌ文化を紹介する方法として若者に受け入れられている漫画など他のジャンルからもインスピレーションを得ながら、「着たい」と思わせるスタイルの製作に取り組んでいます。



古里 裕之 さん ～本場フランスで研鑽を積み、道産ジビエ料理に革新を～

本場フランスのレストランで7月から6か月間の研修中。

10月下旬に、自然豊かなフランスの三つ星レストランから、パリの老舗二つ星レストランに移動しました。クラシカルで美しい料理、手を抜くことのないソースや食材の下処理、最新機材も豊かな綺麗な厨房、奥ゆかしい客室、そして、一流のシェフ、パティシエと出会いました。

ここでの3か月間の働きが、北海道とどのように繋がるか毎日を楽しみにしています。



未来の匠コース

スポーツコース

山 あずさ さん

～本場でラグビーを学び、道内女子ラグビーの発展に貢献～

ラグビーの本場ニュージーランドで11月から1年間、所属する強豪クラブで自らプレーしながらコーチングを学ぶ。

11月から研修開始。午前の語学学校、午後のラグビートレーニング…とあっという間に1日が過ぎる充実した日々。

日常生活にラグビーが溶け込む本場の環境に刺激を受けながら、本場のコーチングを受け、練習の内容や流れ、指導方法、コミュニケーションなど、これが世界一の秘訣かと感じています。女性指導者たちからも刺激を受け、自らの夢への想いを新たにしています。



齊藤 雄大 さん

～先進地に学び、道内に障がい者スポーツの拠点を～

障がい者スポーツ先進国の米国で8月から1年間の研修中。

11月は、研修先のテキサス州立大学（UTA）で、イギリスナショナルチームも参加する車椅子バスケットボール大会の運営スタッフとして参加しました。

障がい者スポーツチーム強化のための合宿・遠征・親善試合などのプランニングや大会の運営方法などを学びました。



廣田 修平 さん

～先進のジュニア育成方法を学び、道産子オリンピックを～

体操競技のジュニア育成システムの先進地米国で11月末から4か月の研修を開始。

11月末から研修開始。研修地のオレゴン州ポートランドに到着早々から研修拠点のクラブチームを訪問。恵まれた施設環境に胸が高鳴りました。

広大なアメリカで成功している体操のジュニア育成システムを学び、同じく広域な北海道からオリンピックの育成を目指します。



第2期生平成30年4月 募集開始 (予定)

来年1月～
ポスターを全道で
掲示していきます！

リーフレットも！

事前の相談は随時
受け付けています。



応援パートナーの皆様

(平成29年12月現在・敬称略)



古本募金による寄附を受け付けています。



応援パートナー「NORTH CREATE」様のご協力により、ご家庭や会社で不要になった本等を寄附することで、その査定額全額が基金に寄附され、若者の支援に繋がる「古本募金ハピぼん」の取組を行っています。

個人での参加はもちろん、企業単位での参加も可能ですので、ハピぼんホームページをご覧ください。基金事務局までご一報ください。(これまでの寄附 191人の方から2,413冊)

北海道総合政策部政策局総合教育推進室

TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-6313

E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>



第1期生のチャレンジ風景をお届けします。

